

学内の教育研究成果を 世界に発信してみませんか。

—『大阪教育大学リポジトリ』から—

「大阪教育大学リポジトリ」とは

学内で生産された教育研究成果物を収集・保存し、インターネットを通じて学内外に公開するシステムです。

<http://ir.lib.osaka-kyoiku.ac.jp/dspace/>

リポジトリ活用の
メリット

研究者にとって・・・

- より多くのひとに読んでもらえる新たなルートです！
- 書誌データから、本文まで読めます！
- 論文の被引用率UPが期待できます！
- 教育研究成果物を確実に保存し継承します！

大学にとって・・・

- 教育研究成果を永続的に保存・公開できます！
- 社会への還元・貢献・説明責任遂行となります！
- 本学で学びたい人への情報提供となります！
- 大学の特色をアピールできます！

学術雑誌
掲載論文

紀要論文

会議資料

科研報告書
学術報告書

登載できる研究成果物

教材

学位論文

図書

お問い合わせ・送付先： 附属図書館（学部学術情報課）
情報システム係

TEL： 072-978-3781 FAX： 072-978-3803

e-mail： system2@lib.osaka-kyoiku.ac.jp

『大阪教育大学リポジトリ』とは？

学内で生産された教育研究成果を保存し、インターネットを通じて学内外に公開するシステムです。

Google や Google Scholar 等の検索エンジンや、JAIRO(国立情報学研究所)・OAIster(世界のリポジトリ一括検索)等のデータベースで一元的に検索できるようになるため、多くの方にコンテンツが読まれることが期待できます。

また、1コンテンツごとに唯一・永続的な URL が与えられ、大学の教育研究成果を集積していく電子書庫としての役割も持っています。

「大阪教育大学リポジトリ」登載の流れ



【著作権について】

●著作権が著者にある場合

著者の意志により公開できます。共著者がいる場合は、共著者の許諾も必要です。

●著作権が出版社・学協会にある場合

ご提供いただいたコンテンツについて、附属図書館で著作権許諾状況の確認をおこないます。

出版社・学協会の許諾があれば公開できます。世界の主要学術出版社・学会の90%以上のジャーナルが、著者自身のHPや所属機関サーバ(=リポジトリ)から著作を公開すること(セルフ・アーカイブ)を認めています。ただし、そのほとんどが著者最終稿に限るとしています。

著者最終稿とは、出版社のレイアウトやロゴが入る前の原稿のことで、著者の手元に最終的に残る原稿のことです。

※出版社版の公開を認めている出版社・学会もあります。附属図書館情報システム係までご相談ください。

【コンテンツ(教育研究成果)の登載について】

コンテンツ(教育研究成果)と登録同意書をご提出ください。

●コンテンツが電子化されている場合(PDF・Word・一太郎 etc.)は電子メールでお送りいただいても結構です。

※CD や DVD の場合は、学内便にてお送りいただくか、ご持参ください。

●電子化されていない場合は、紙媒体を学内便でお送りいただくか、ご持参ください。

お問い合わせ・送付先： 附属図書館（学術部学術情報課）
情報システム係

TEL： 072-978-3781 FAX： 072-978-3803

e-mail： system2@lib.osaka-kyoiku.ac.jp